

平成28年度遠野市市税等収納対策プロジェクトの総括

1 市税等の収納状況

(1) 収納実績及び収納率

財政基盤の強化・安定と年々増加傾向にあった収入未済額の解消を目指し、市税等収納対策プロジェクトとして取り組んでいます。平成28年度の収納状況は、次の表のとおりです。

収納実績は、調定額 5,747,281千円に対し、収入済額は 5,400,566千円、不納欠損額 16,874千円、収入未済額 329,841千円、合計収納率は 93.97%となり、特に現年度分の収納率は、第2次遠野市総合計画前期基本計画まちづくり指標に掲げた 97.48%を 0.12ポイント上回る 97.60%でした。

前年度の調定額との比較では、現年度分で 71,297千円の減、滞納繰越分で 12,301千円の減、合計で 83,598千円の減となりました。

同じく収納率の比較では、11の収入科目のうち10科目で合計が前年度以上となりました。主なものは、奨学資金が 2.52ポイント、保育料が 0.63ポイント、国民健康保険税が0.55ポイント、後期高齢者医療保険料が 0.31ポイントそれぞれ上回りました。一方、住宅使用料が 1.26ポイント下回りました。

収入未済額の各科目の合計は 329,841千円となり、収納率の向上により前年度に比較して 4,942千円の減となりました。市税と国民健康保険税の収入未済額が全体の約 7割を占めていますが、前年度に比較して 4,318千円の減となりました。

平成28年度収納実績

(単位：千円、%、Pt)

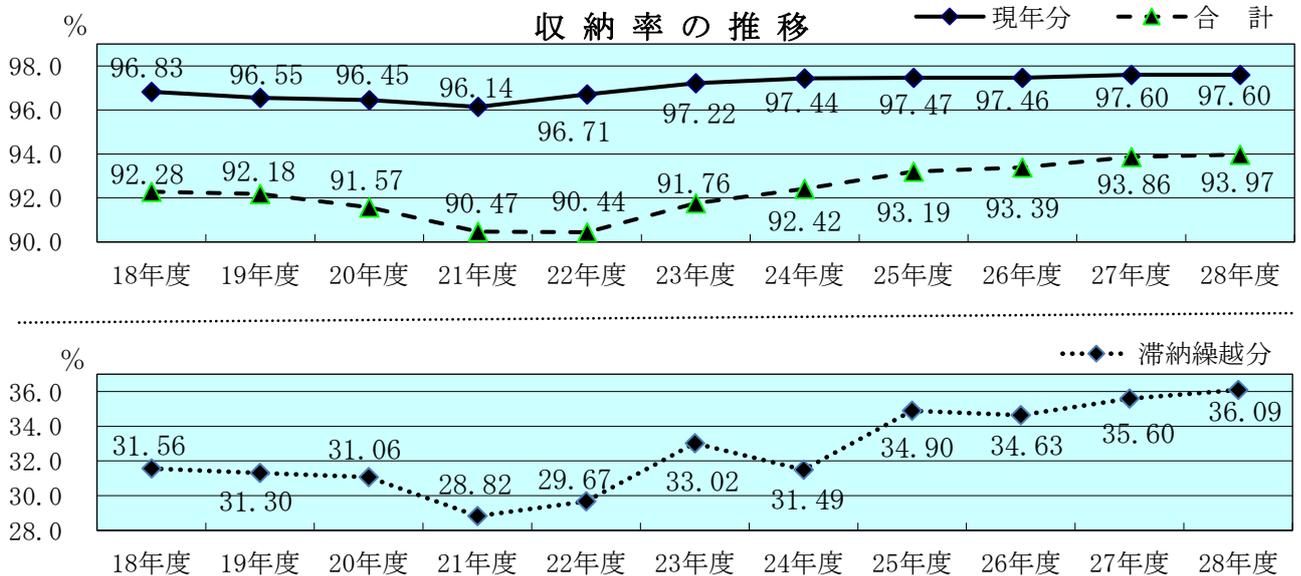
収入科目	年度	平成28年度				平成27年度		収納率比較 (28-27)	
		調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納率	収入未済額		
市税		2,751,490	2,628,410	7,384	115,696	95.53	116,184	95.52	0.01
保育料		107,515	101,483	183	5,849	94.39	7,741	93.76	0.63
住宅使用料		108,269	88,742	0	19,527	81.96	17,996	83.22	△1.26
奨学資金		54,526	46,809	0	7,716	85.85	7,659	83.33	2.52
学校給食費		100,306	100,289	0	17	99.98	128	99.87	0.11
国民健康保険税		676,159	550,630	6,903	118,626	81.43	122,457	80.88	0.55
後期高齢者医療保険料		189,479	188,794	16	670	99.64	1,257	99.33	0.31
介護保険料		589,313	580,070	2,263	6,980	98.43	7,022	98.40	0.03
ケーブルテレビ使用料		347,676	347,401	0	275	99.92	273	99.92	0.00
農業集落排水 下水道事業		163,314	162,309	76	929	99.38	886	99.37	0.01
水道料 (企業会計3月末)		659,234	605,629	49	53,556	91.87	53,180	91.86	0.01
合計 ①	現年度分	5,407,479	5,277,943	0	129,536	97.60	131,465	97.60	0.00
	滞納繰越分	339,802	122,623	16,874	200,305	36.09	203,318	35.60	0.49
	計	5,747,281	5,400,566	16,874	329,841	93.97	334,783	93.86	0.11
前年度 実績 ②	現年度分	5,478,776	5,347,311	0	131,465	97.60			
	滞納繰越分	352,103	125,365	23,420	203,318	35.60			
	計	5,830,879	5,472,676	23,420	334,783	93.86			
前年度 比較 ①-②	現年度分	△71,297	△69,368	0	△1,929	0			
	滞納繰越分	△12,301	△2,742	△6,546	△3,013	0.49			
	計	△83,598	△72,110	△6,546	△4,942	0.11			

(注) 表示単位未満四捨五入を基本に、縦計が合計①欄の計と合うよう切捨て・切上げている箇所がある。収納率は、円単位での数値で計算した結果を記載している。

(2) 収納率の推移

平成28年度における現年度分の収納率は、前年度と同率の 97.60%となり、2年続けて前年度以上を保つ結果となりました。また、滞納繰越分の収納率は 36.09%となり、前年度に比較して 0.49ポイントの増となりました。

合計の収納率は 93.97%となり、前年度より0.11ポイント向上し、6年連続で合計収納率が前年度を上回りました。



(3) 不納欠損の状況

市税と国民健康保険税の不納欠損は、5年時効完成による消滅が996件・6,850千円、執行停止3年による消滅が1,260件・7,427千円、徴収不可による消滅が4件・10千円、合計では2,260件・14,287千円となりました。

市税及び国民健康保険税以外の不納欠損は、462件・2,587千円で、主なものは、介護保険料が416件・2,263千円、保育料が11件・183千円となりました。

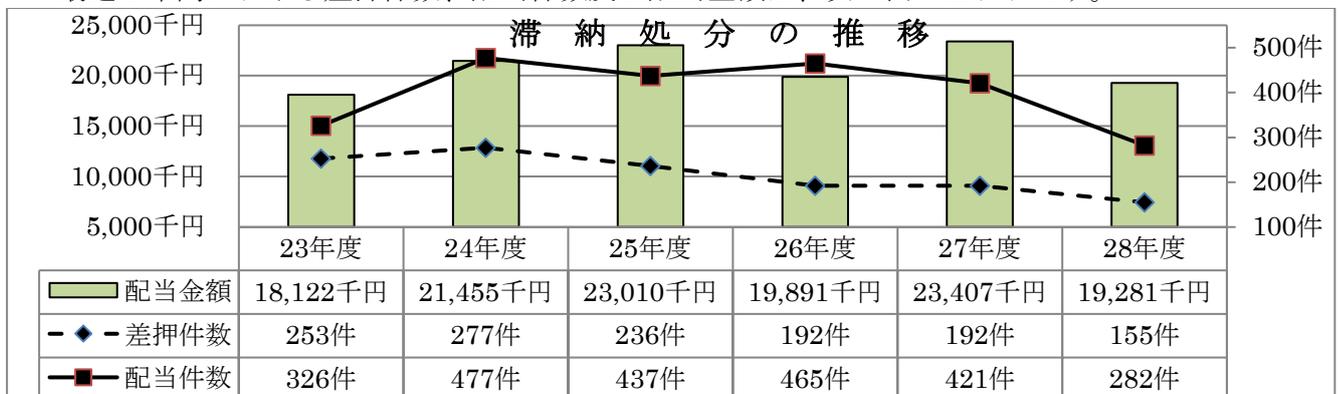
2 平成28年度の収納対策の取組み

(1) 催告書の共同発送及び臨戸催告の実施

関係課による催告書の共同発送を4月、7月、11月の年3回実施しました。また、共同発送の翌月の5月、8月、12月を徴収強化月間と位置づけ、担当部課長等又は応援部課長等と担当者による臨戸催告を実施しました。

(2) 滞納処分の状況

最近6年間に於ける差押件数、配当件数及び配当金額は、次の表のとおりです。



(3) その他の収納対策

税務課窓口のテレビ画面やチラシ等の紙面を通じ、納期内納付の啓発活動を行いました。また、関係課で滞納者の生活実態等の情報共有を図りながら、効率的な納付交渉や効果的な滞納処分を進めました。さらに、市税では、平成28年度から新たにコンビニ納付を開始しました。